

内科専門研修基本コース

(内科専門医取得卒後 6 年目、サブスペシャリティ領域取得卒後 9 年目～)

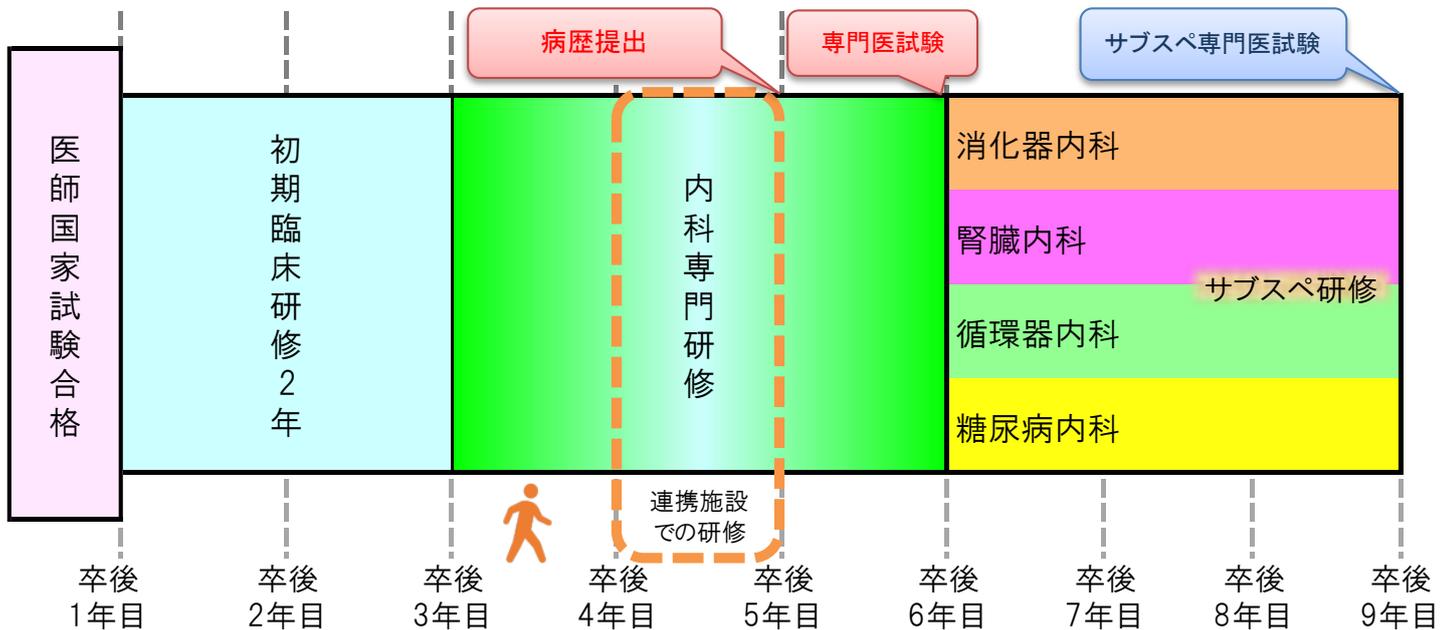


図1.プログラム概念図(基本コース)

内科領域を幅広く、余裕をもって学ぶことのできるコースです。

【卒後 3 年目】

内科専門医プログラムを開始します。済生会茨木病院(基幹施設)で内科系診療科をローテーションしながら、救急や当直などの症例を担当します。

【卒後 4 年目】

連携施設で、主に卒後 3 年目に研修できなかった診療科を中心に研修します。連携施設は、京都大学医学部附属病院、国立循環器病研究センター、大阪府済生会中津病院、大阪府済生会吹田病院、大阪府済生会千里病院、大阪府済生会野江病院、大阪府済生会泉尾病院、大阪府済生会富田林病院、摂津ひかり病院、ほうせんか病院で病院群を形成し、いずれかを原則として 1 年間ローテーションします。

【卒後 5 年目】

基幹施設での研修となり、この時点で希望する Subspecialty が未定の場合は、希望する複数の診療科で研修します。

【卒後 6 年目以降】

内科専門医試験を受験し、サブスペシャリティ研修を開始、その後、各学会の要件を満たすために 2~3 年間修練を積み、サブスペシャリティ領域の試験に臨みます。

※指導医が認めた場合は、初期研修の 2 年間に経験した症例でも、内科専門研修プログラムの修了要件の最大 5 割 (80 症例、病歴要約 14 症例) まで、J-O S L E R (内科専攻医評価システム) への登録が可能ですので、活用ください。